

山形県 高校入試情報

令和7年度山形県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 小説 ほしおさなえ「まぼろしを織る」
大問2 論説文 永田和宏「AIと連歌を巻く」
大問3 古文 「清水物語」
大問4 漢字・表現・作文 東北農林専門職大学ホームページから作成「山形県の農業について」
大問5 作文 ACジャパンホームページ「スマートフォンの使用についての広告」

例年どおりの5大問構成で、各分野にわたってバランスのよい出題がされている。記述問題が比較的多く、課題作文もあるので、正確な読解力とともに記述力が求められる。

★山形県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■文章記述問題の対策

全体的に記述力が重視されている。指定字数の範囲が5字から75字まで幅広くあり、解答に必要な要素を速く正確にまとめる力が求められる。日頃からさまざまな形式の問題にあたり、力をつけておきたい。

新研究で対策！

- 巻頭特集「国語のキホン」(p. 2～5)や、ウォームアップ特集「記号選択・記述問題のキホン」(p. 26～27)では、文章記述問題の解き方・考え方を、一から丁寧に解説しています。
●「解説・解答集」では、丁寧にわかりやすい採点基準で、文章記述問題の自己採点がしやすくなっています。

■表現・話し合いに関する問題の対策

本年度は、調べたことを報告する際の内容の整理がテーマ。内容を整理したふせんの順番と、資料の提示方法について問われた。情報が複数にわたる場合には、問題の主旨と本文の内容を正しく読み取る力が特に求められる。

新研究で対策！

- 「26 グラフ・図表を読み取ろう」(p. 136～139)や、「27 話し合いをとらえよう」(p. 140～143)、「28 伝え方の工夫を学ぼう」(p. 144～147)などの単元で、ポイントの確認と問題練習ができます。

令和7年度山形県入試では、品詞の識別問題が出題されました。まぎらわしい品詞の見分け方をおさえておきましょう！



★山形県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	漢語・漢字	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう				
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう	●			
		展開をとらえよう	●	●		●
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう		●	●	●
		文章中の表現を味わおう	●	●	●	
		話題・情報をとらえよう				●
		指示語・接続語をとらえよう	●			
		文章を解釈しよう	●	●	●	●
		理由をとらえよう	●	●	●	
		段落構成をとらえよう	●			●
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
		古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●
	古文の会話・主語をとらえよう		●		●	●
	古文の展開をとらえよう		●	●	●	●
	漢文・漢詩を味わおう					
	詩歌	詩・短歌を味わおう				●
		和歌・俳句を味わおう		●		
	文法	文の組み立てを知ろう				
		自立語を学ぼう		●	●	●
		付属語を学ぼう	●			
	表現・情報	敬語を使いこなそう				
		グラフ・図表をとらえよう	●			●
		話し合いをとらえよう	●	●	●	
		伝え方の工夫を学ぼう		●		●
		課題作文を書こう	●	●	●	●
		★聞き取り問題				
別の出題傾向	形式	大問数	5	5	5	5
		小問数	30	31	30	30
		記号解答	10	10	9	9
		記述式解答（漢字の読み書きも含む）	20	21	21	21

★新研究で出題した山形県の入試問題(令和7年度)

- p. 73 説明的文章